

車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、下部イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

*印…道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)

道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

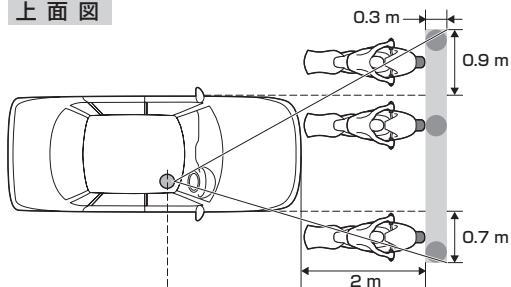
前方視界について

■ 基準概要

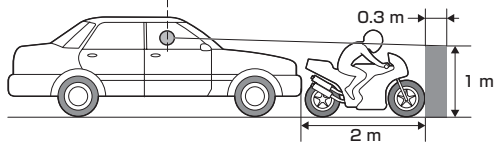
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



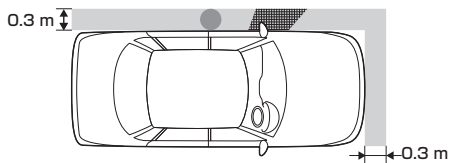
- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱

直前直左視界について

■ 基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱
- : 適用外エリア
(Aピラーまたは室外後写鏡により視界が遮られるエリア)

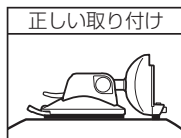
取り付け上のお願

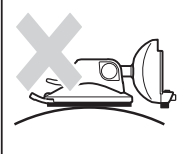
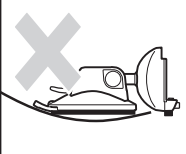
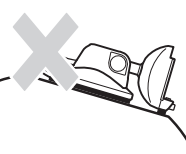
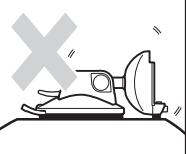
- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPS衛星電波やワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナーできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。
※車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
※ベンジンやシンナー類などは使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使いかたをされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

取り付ける前に

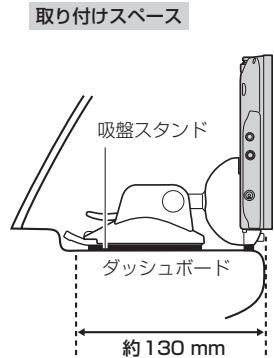
- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
(取り付け位置の安全性を考慮し、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談のうえ、取り付け位置を決めてください。)
- 吸盤スタンドおよび取付用シートの貼り付け場所はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面
			

取り付け角度・寸法について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度および取り付けスペースを参考にしてください。



※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

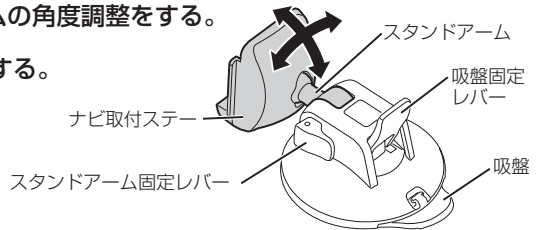
※自律航法を動作させるため前後左右の角度は30°以内で調整してください。それ以外の角度で取り付けると自律航法は動作しません。

はじめに

吸盤スタンドの取り付けかた

1 ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする。

① ナビ取付ステーの角度を調整する。



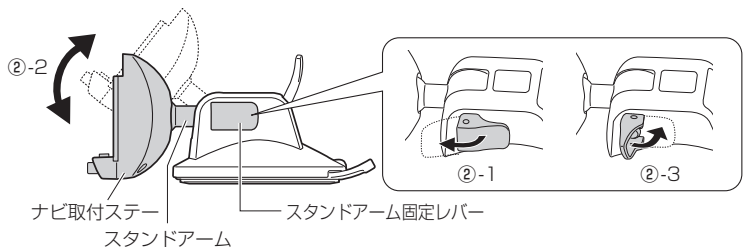
お願い

ナビ取付ステーはスタンドアームに対して自由な方向に動かせます。動きが固すぎる／固定具合が弱すぎる場合は、右記のように正面のねじをドライバーなどの工具で調整してください。

※ナビゲーション本体を取り付けて使用中、ゆるまないうちに動きが固めの状態にしてください。



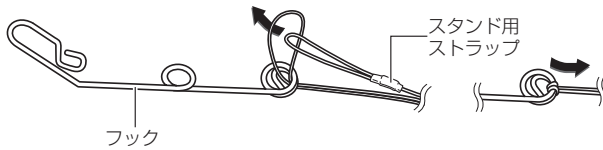
② スタンドアーム固定レバーを起こして、スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置を調整し、スタンドアーム固定レバーを倒して固定する。



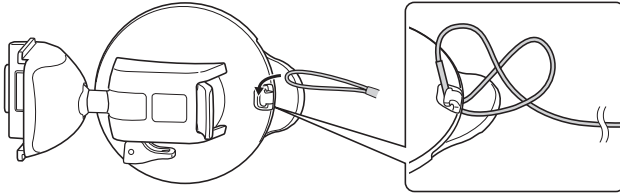
4

フックおよびスタンド用ストラップを取り付ける。

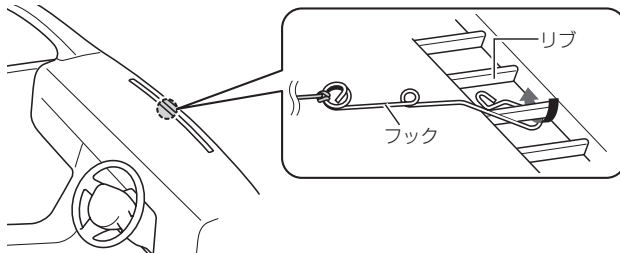
- ① フックにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ② 吸盤スタンドにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ③ フックを車のデフロスタ(フロントガラス下の送風口)のリップ部へ取り付ける。

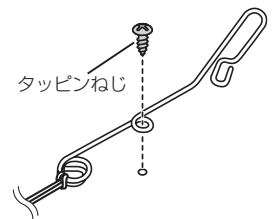


デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

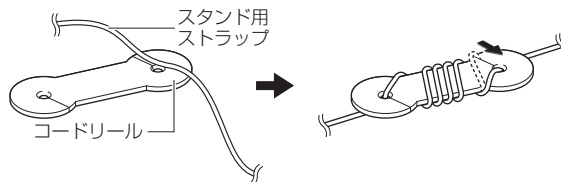
※ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。

お願い

タッピンねじを取り付けるときに、ダッシュボードが割れたり、ダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。



- ④ スタンド用ストラップをコードリールに巻き付け、スタンド用ストラップが緩まないように長さを調整する。



5

取付用シートを貼り付ける。

※ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

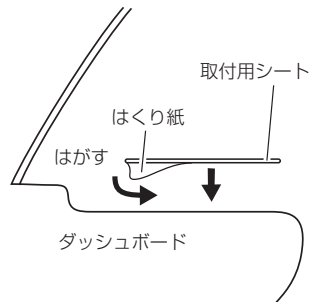
取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- 空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、取付用シートのみ状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナーできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

※取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。
粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。

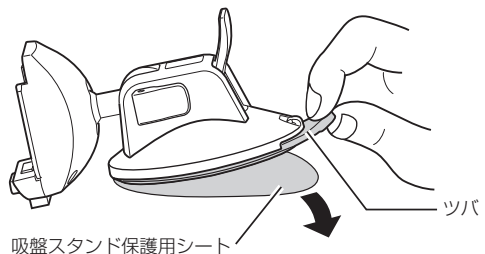


6

ダッシュボードに吸盤スタンドを取り付ける。

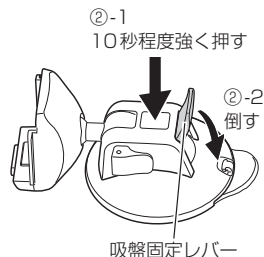
① 吸盤面に付いている吸盤保護用透明フィルムをはがす。

※すでに吸盤保護用透明フィルムをはがし、吸盤面に吸盤スタンド保護用シートを貼り付けている場合は、吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



② 吸盤をダッシュボードに10秒程度強く押しながら、吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

※しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



お願い

- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付用シートを使用する場合は、吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。
※水以外では拭かないでください。
- 吸盤スタンドを清掃するなどしても吸着力が弱いと感じる場合は、取り付ける位置を変更するか、取付用シートを貼り付けてから吸盤スタンドを取り付けてください。
【P.26 手順 5】
- 光沢面に吸盤スタンドを貼り付けると、吸着力が増してはがしにくくなる場合があります。光沢面に貼り付ける場合は、取付用シートをご使用ください。
【P.26 手順 5】

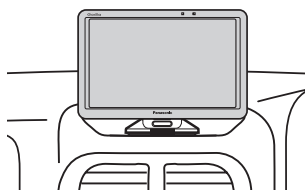
7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※【P.24 手順 2】を参考に、ナビゲーション本体をナビ取付ステーに取り付けてください。

※吸盤スタンドのスタンドアーム固定レバーはしっかり倒して
ください。固定が弱いと、車の振動などでレバーがゆるみ、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれ
あります。

お願い

吸盤スタンド各部のゆるみ、吸盤が外れそうにな
っていないかなど、定期的な点検してください。



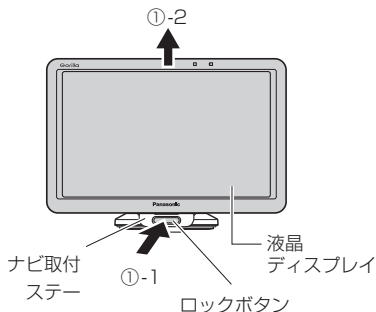
吸盤スタンドの取り外しかた

■ ナビゲーション本体をナビ取付ステーから外す場合

- ① ナビ取付ステーのロックボタンを押しながらナビゲーション本体を上向きにスライドさせる。

お願い

液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体
を取り付けたり、取り外したりしないでください。

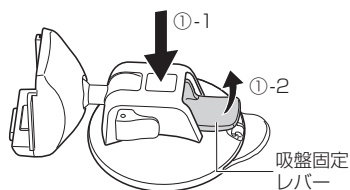


■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けられているスタンド用ストラップを外してください。

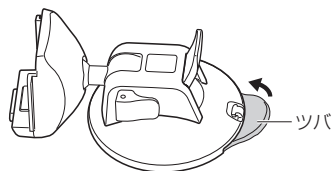
- ① 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

お願い 吸盤固定レバーを持ち上げるときに、指をはさまないようにご注意ください。



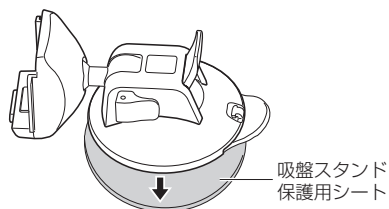
- ② 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※吸盤スタンドを取り外すときに、使用環境により吸着力が強くなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- ③ 吸盤スタンドを取り外したあと、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※取り外したあとは吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。



コードクリップの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のコードクリップを使用して束ねてください。

■ 取り付ける場合

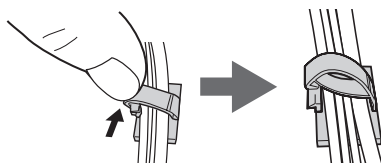
- ① コードをコードクリップに入れ、“カチッ”と音がするまで押してロックする。

※ロック後、コードクリップ裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。



■ 取り外す場合

- ① 下記イラストのようにスライドさせて、ロックを解除する。



車にVICISアンテナを取り付ける

G1500VDのみ

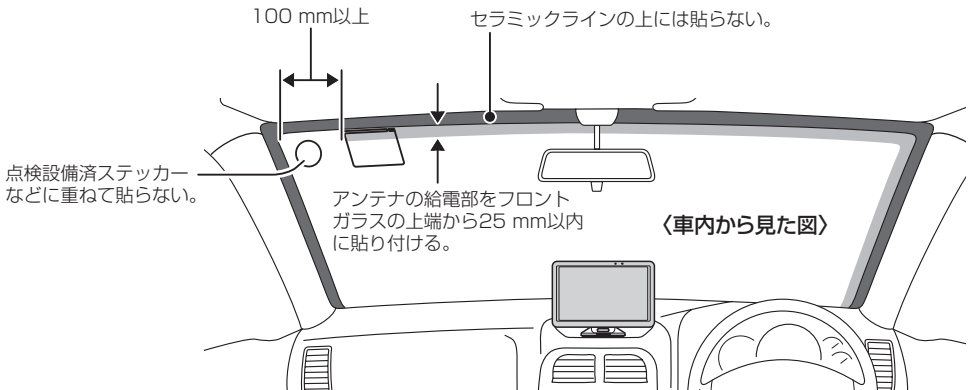
付属のVICISアンテナを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

VICISアンテナの取り付け位置について

- 性能を十分に発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
※指定の位置や寸法内に貼り付けられない場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。
※車載カメラ装置や電波を通さない熱反射ガラスなどが装備されている場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。
*印…道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)
最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。



取り付け上のお願い

貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。

※界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

※設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。

※気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。

取り付けの前に

- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めして、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 電波干渉を防ぐため、他のアンテナから100 mm以上離して貼り付けてください。

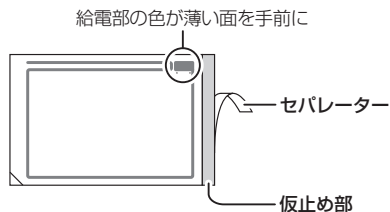
はじめに

VICS アンテナの取り付けかた

1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける。

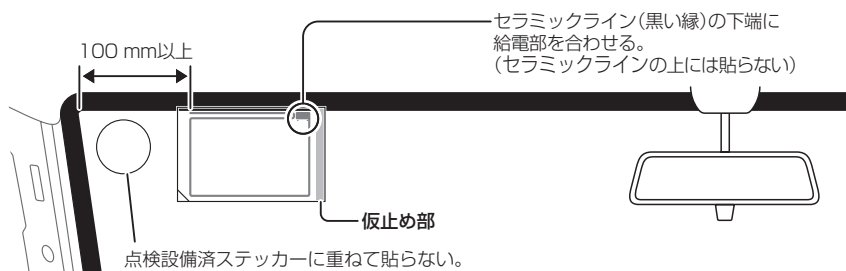
① 仮止め部のセパレーターをはがす。

※糊面に触れないでください。



② 貼り付ける位置を決めて、仮止め部をガラスに貼る。

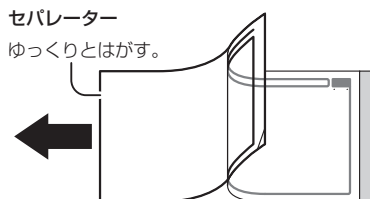
※貼り付ける位置からコードを引き回して、アース端子が正しく取り付けられるか、ナビゲーション本体へアンテナコードが届くかを確認してください。



③ セパレーターをはがし、フィルムをガラスに貼り付ける。

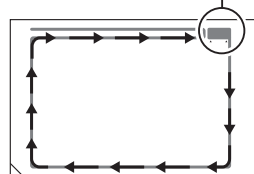
※糊面に触れないでください。

※強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線する場合があります。



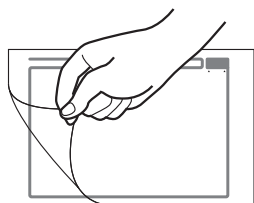
④ アンテナの上を指でこすり、ガラスに密着させる。

給電部
特に念入りに押さえる。



⑤ フィルムの左下の角を持ち、ゆっくりとはがす。

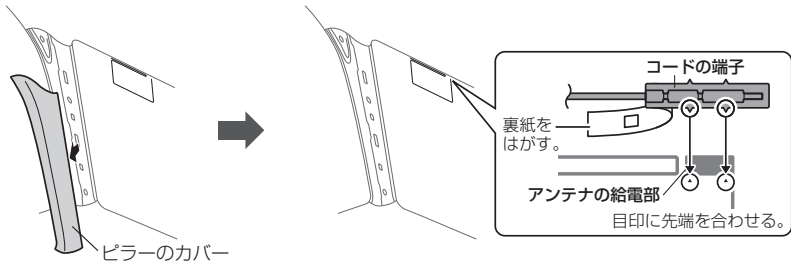
※アンテナがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してアンテナ上をこすり、再度はがしてください。



2 アンテナコードを取り付ける。

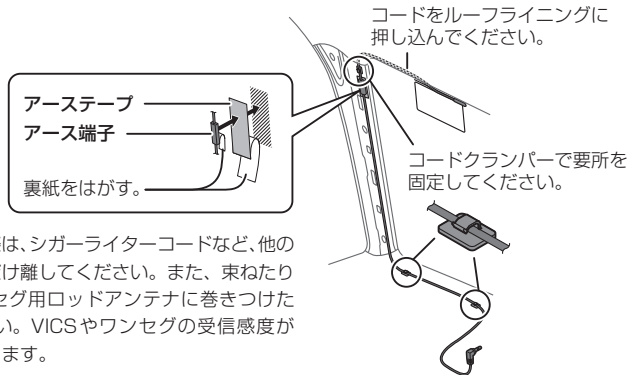
① ピラーのカバーを取り外し、コードの端子をアンテナの給電部に貼る。

- ※ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- ※ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
詳しくは、車両メーカー・カーディーラーにご相談ください。
- ※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。



② アース端子を金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

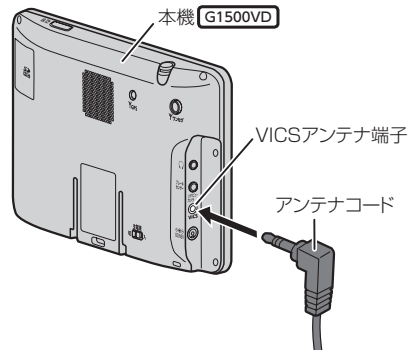
- ※必ずアーステープをアース端子と金属部の間に貼ってください。
(金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。)
- ※アース端子を正しく貼り付けていない場合、VICSの受信感度が低下することがあります。



- ※コードを引き回す際は、シガーライターコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりワンセグ用ロッドアンテナに巻きつけたりしないでください。VICSやワンセグの受信感度が低下する場合があります。

3 アンテナコードを本機のVICSアンテナ端子へ接続する。

- ※必ず本機のVICSアンテナ端子を確認しながら接続してください。(誤って本機のヘッドホン端子などに接続しないでください。)
- ※取り付けが終わったら、ピラーのカバーをもとに戻してください。



動作の種類と走行中の制限について

動作の種類(車動作・家庭動作・電池動作)について

本機は、使用する電源や吸盤スタンドまたは VICS アンテナ*¹の装着状態によって車動作・家庭動作・電池動作と変わります。

※必ず付属または別売品のスタンドや VICS アンテナ*¹を使用してください。市販の汎用品などを使用すると、車動作に変わらずナビゲーションの性能を発揮できません。

使用する電源	シガーライターコードまたは AC アダプター(別売)	内蔵電池
吸盤スタンドまたは VICS アンテナ* ¹ 装着時	車動作* ²	電池動作
吸盤スタンド、VICS アンテナ* ¹ ともに未装着時	家庭動作	電池動作

* 1 印…VICS アンテナは **G1500VD** のみです。

* 2 印…車動作中に吸盤スタンド、VICS アンテナ*¹を取り外しても家庭動作に変わりません。
家庭動作にするには、取り外した状態で本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

制限される主な機能

動作の種類(車動作・家庭動作・電池動作)や走行/停車判定によって、下記のように機能が制限されます。

動作の種類	車動作		家庭動作	電池動作* ¹
	停車中	走行中		
各メニュー操作	○	× (一部のメニューのみ操作可能)	○	○* ²
地図スクロール	○	× (短くタッチする操作のみ可能)	○	○* ²
道幅 3 m 未満の細街路表示* ⁴	○	× (道幅 3 m 未満の細街路を走行中のみ表示可能)	○* ³	○* ³
自律航法(Gジャイロ)	○	○	○	×
画面消し	×	×	×	○
eco ドライブの評価	○	○	×	×
ガイドブック地点	○	× (吹き出しアイコンのみ表示可能)	○	○* ²
VICS 表示 G1500VD のみ	○	○	×	×
車両センサーの確認	○	○	×	×
セキュリティ設定	○	×	×	×
地図更新/ アプリケーションバージョンアップ	○	×	○	×
リヤビューカメラ/ビデオ映像 G1500VD のみ	○	○：リヤビューカメラ、×：ビデオ映像	○	×
テレビ(ワンセグ)視聴* ⁵	○	×：映像、○：音声	○	○* ²
動画再生	○	×：映像/動画一画面の表示、○：音声	○	○* ²
画像再生(スライドショー)	○	×	○	○* ²
My ストッカーの操作	○	×	○	○* ²

○印…制限しない ×印…制限する

* 1 印…電池残量が少なくなると操作できない場合があります。

* 2 印…吸盤スタンドを装着して走行した場合は、車動作(走行中)と同等になります。

* 3 印…走行した場合は、車動作(走行中)と同等になります。

* 4 印…地図の縮尺スケールが 200 m 以上の場合は、道幅 3 m 未満の細街路は表示されません。
全国市街地図の場合は、制限されず常時表示します。

* 5 印…テレビ視聴制限を設定している場合は、テレビ(ワンセグ)を使用することができません。  P.86

走行／停車判定方法について

本機を車動作または吸盤スタンドを装着した電池動作で使用する場合、安全上の配慮から走行中はテレビ(ワンセグ)／動画などの表示や一部の操作を行うことができません。

本機では下記いずれかの方法で走行／停車判定を行います。

判定方法	内容
車速感応タイプ走行規制による判定	本機が受信するGPS衛星電波などで、車の速度を感知して走行／停車判定を行います。
別売品と同梱されている パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定*	車のパーキングブレーキの操作で走行／停車判定を行います。 ※車が停車中でも、パーキングブレーキをかけないと、本機は“停車中”と認識しません。

*印…別売品と同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定を優先します。

お知らせ 車速感応タイプ走行規制による判定の場合、GPS未受信時／低速走行時／発進と停止を繰り返したときなどは、正しく判定できない場合があります。

電源について

主電源スイッチと電源ボタンについて

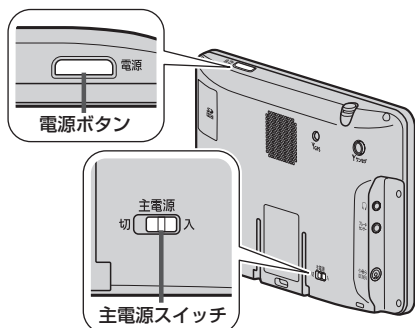
本機には主電源スイッチと電源ボタンがあります。

お買い上げ時は、主電源スイッチが「切」になっていますので、まず、主電源スイッチを「入」にして本機の電源を入れてください。

※日常のご使用では主電源スイッチは「入」のまま、電源ボタンで電源の切／入を操作してください。

※長時間使用しないときは、主電源スイッチを「切」にしてください。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。充電する場合は「入」にしてください。

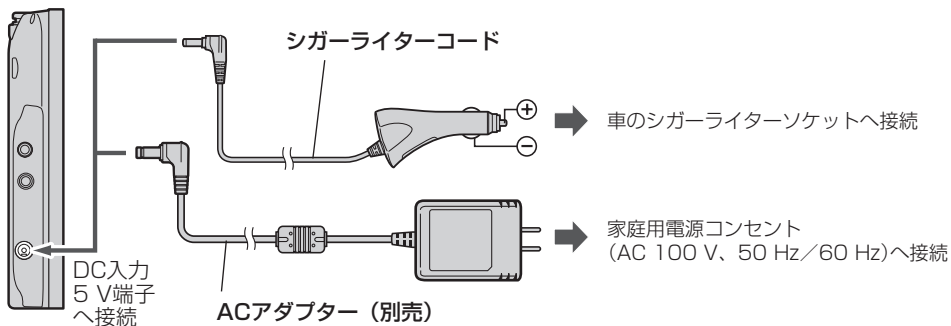


シガーライターコード / ACアダプターで使用する

1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を本機に接続する。

※プラグはDC入力5 V端子の奥までしっかり差し込んでください。

※車で使用する場合は、吸盤スタンドに取り付けて使用してください。【P.21】



お願い

- シガーライターコードは、車に装備されているシガーライターソケットへ確実に差し込んでください。市販の増設用シガーライターソケットなどに差し込むと、外れたり正常に動作しない場合があります。
- シガーライターコードが外れそうになっていないかなど定期的に確認してください。ゆるみがあると接触不良で正常に動作しない場合があります。
- エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない車の場合は、エンジンを切ったあとに、必ずシガーライターソケットからシガーライターコードを外してください。長時間放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- シガーライターコードを使用しないときは、シガーライターソケットから外してください。本機が接続されていない状態でも、シガーライターソケットに接続したままにしておくと電流が消費されます。

2 電源ボタンを約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコード入力画面が表示された場合は、セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。【P.85】

3 警告画面の注意事項を確認して、

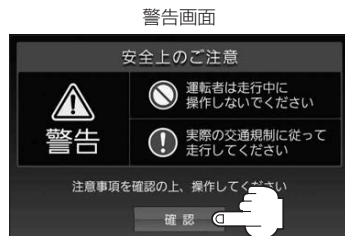
確認 をタッチする。

：現在地の地図画面が表示されます。

※メッセージが表示された場合は、メッセージを確認し **閉じる** または **OK** をタッチしてください。

※AVモードの再生画面が表示された場合は、**現在地** をタッチすると、現在地の地図画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。



内蔵電池で使用する

1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続していない状態で電源ボタンを約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコード入力画面が表示された場合は、セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。[P.85]

2 警告画面の注意事項を確認して、**確認** をタッチする。

[P.34 手順 **3**]

お知らせ

- 内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らない場合があります。充電してご使用ください。
- 内蔵電池保護のため、本機の内部温度が高温になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。正常温度に戻ってから再度電源を入れなおしてください。

内蔵電池の充電について

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続して充電してください。

※充電するときには電源ボタンを約2秒押しして電源を切ってください。満充電できない場合があります。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。[P.33]

お願い

- ACアダプター(別売)を使用する場合、充電が終了したらコンセントから外してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

充電ランプ/電池マーク

電池マーク

電池動作時のみ表示	残量：多	 (緑色)
	残量：中	 (緑色)
	残量：少	 (赤色)
	残量：なし	 (灰色)
充電時のみ表示	満充電	
	充電中	
	充電停止*	

充電ランプ

満充電：消灯
充電中：点灯(橙色)



* 印…+ 10℃～+35℃の温度範囲以外の場所では、内蔵電池保護のため充電が停止します。[P.36] (充電ランプは点灯したままの状態になります。)

お知らせ

- 低温下では、表示される電池残量が一時的に少なくなることがありますが、これは電池の特性によるものですので故障ではありません。
- 電池動作時に電源ボタンを短押し(約1秒以内)し、画面消しにしたときは充電ランプが緑色に点灯します。

充電時間と連続使用可能時間

電池の充電時間と使用可能時間は目安です。数値を保証するものではありません。

※使用環境、使用する機能や設定により使用可能時間が短くなる場合があります。

充電時間 本機の電源を切った状態で、空の内蔵電池を充電した場合 (周囲温度 +25℃)	約2時間20分
連続使用可能時間 本機を連続して使用した場合(満充電、周囲温度 +25℃) * 1印…テレビ(ワンセグ)を受信し、音量を中間、画面の明るさを最大(明るさ自動調整しない)にした場合 * 2印…テレビ(ワンセグ)を受信し、音量/画面の明るさを中間(明るさ自動調整しない)にした場合	約40分* ¹ 約1時間10分* ²

お知らせ

- 充電は必ず +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。温度範囲以外では、内蔵電池保護のため充電が停止します。
- 使用環境により電池残量が正しく表示しない場合があります。
※低温下での電池の電圧低下があるため、電池残量に関わらず電源が切れる場合があります。
- 周囲の温度が高温のときは、自動的に放電され、使用時間が短くなる場合や電源が入らない場合があります。
- 累積の使用時間により内蔵電池は少しずつ劣化します。そのため使用可能時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

本機の電源を切る

1

電源ボタンを約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が切れます。

お知らせ

- 車のエンジンを切るなどしてシガーライターコードまたはACアダプター(別売)からの通電がなくなると、自動的に本機の電源が切れ、再び通電が始まると本機の電源が入ります。
※家庭動作時の場合は、設定により本機の電源が切れずに電池動作に切り換わります。
- 本機の電源を切ってすぐに電源ボタンを約2秒押しても電源は入りません。
少し待ってから電源を入れてください。
- 電池動作時に電源ボタンを短押し(約1秒以内)した場合、画面消しにすることができます。画面消しで消えた画面を再度表示するには、電源ボタンを短押し(約1秒以内)してください。

SDメモリーカードについて

本機ではSDメモリーカードを使用して下記などができます。

- 本機で登録している登録地点情報のバックアップ／リストア、エクスポート／インポート
- まっぴるコード(MGコード)更新データの利用
- パソコンを使用してSDメモリーカードに保存した音楽ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(MP4)、画像ファイル(JPEG)の再生

■ 本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード(32GB以下)*とSDメモリーカード(2GB以下)に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。

microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。

*印…SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

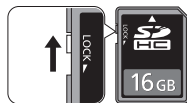
■ SDメモリーカードは、パソコンでFAT16またはFAT32でフォーマット(初期化)してから使用してください。

お知らせ

- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードの取り扱い

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - ・ 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・ 貼られているラベルをはがさない
 - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けない
 - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



お願い

microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

SDメモリーカードを挿入する／取り出す

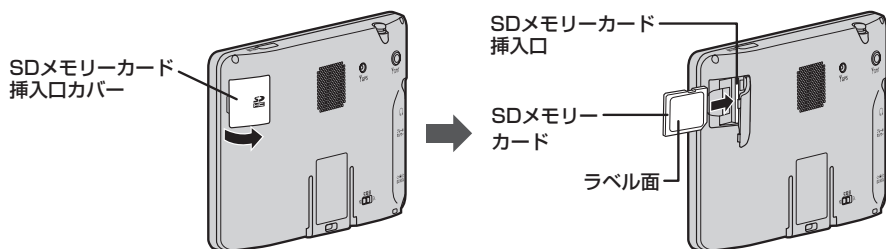
※SDメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

挿入する

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※SDメモリーカードを挿入したあとは、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



取り出す

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカードを1回押してから取り出す。

※SDメモリーカードを取り出したあとは、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。

